

大正六年六月二十一日発行 三編郵政特許 (毎月一回一日發行)

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號六第 卷八十二第

行發日一月六年四和昭

論叢

戸數割の性質 法學博士 神戸 正雄
 勞銀の理論 文學博士 高田 保馬
 マルサスの恐慌論 經濟學士 谷口 吉彦

說苑

近江商人の活躍について 經濟學士 菅野和太郎
 兩圓との關係に就て 經濟學士 堀江 保藏

雜錄

免償價值について 文學博士 高田 保馬
 生産立地理論について 經濟學士 菊田 太郎
 中央と地方の豫算形式 經濟學士 中川與之助
 國民經濟と大都市經濟 經濟學士 大谷 政敬
 大阪市の人口動態 經濟學士 武田長太郎
 佛蘭西國營輸出信用保險 經濟學士 近藤 文二

法令

救護法・農業調査令

附錄

本誌第二十八卷總目錄

(禁 轉 載)

國民經濟と大都市經濟

大谷 政敬

はしがき

今日都市經濟は極めて重大なる意義を有し、これが正當な認識と理解無くしては、國民經濟は言ふに及ばず、世界經濟も正確に把握せられないのである。しかるに都市經濟の科學的研究は他の經濟部門に比して遜色あるのは遺憾である。

一九二九年發行一般統計雜誌十八卷四分冊に「*Die Grossstadtwirtschaft in der Volkswirtschaft*」を論じてゐる¹⁾。此の論文は獨逸大都市經濟を識る上に於て有益な資料を與えるものと信じ次に敘述する。

一、獨逸大都市の場所的限界

獨逸大都市の現在の問題として特に研究を要するのは、近接地域併合の問題、都市擴張の問題、都市の土

地、建築及び住居諸政策、都市の内部及び郊外地域移住の問題である。

先づ第一に、大都市の經濟的に合理的な區域の限界の問題を研究する。獨逸に於ける行政區劃の區分は、最近數十年間に於ける國民經濟組織の變化から起つた處の新らしき事象に基いて居ない。詳言せば、極く少數の例外は除くとするも殆んど大都市の區域限界は、都市行政の職能及需要に照應しない、此の事情からして幾多の困難、不完全、及經濟上の弊害が絶えず生じて居る、故に大都市の行政區劃と其他の行政區劃との間に合目的區域の限界をつけんとする要求は現今に於ける焦眉の問題の一となつた。

例へば *heinrich-westfälischen* 工業地域に於ては、不合理、無意味になつたところの都市行政區域と國の行政區域との混亂が一般的病疔となつて來て居る。

限界を確立するに當りては、經濟的、社會的、及び文化的なるものゝ凡ての權力の統一的指導が自由に行はれ、亦將來の經濟戰に於て最大の能力が無條件に求

1) Allgemeines Statistisches Archiv. 18. Band Viertes Heft. 1929. § 515-546.

めらるゝ如く定めなければならぬ。

二、獨逸大都市への勞働力の供給

獨逸大都市の興隆は、外部からの必要なる勞働力を以て給せらるゝ時に可能である、何んとなれば大都市住民は今日では自然的増加に依ては全然増加しないからである、従て都市の發展は第一に移住者に依て支持さるといふを得る。

外部からの勞働力の供給は大體二つの方法で行はれる、一は大都市への人口移住であり、他は所謂振り移動と稱せらるゝものである。

大都市への人口移動過程は、田舎から小中都市へ、そして小中都市から大都市へ、或は稀れではあるが、直接に田舎から大都市へと移動する、其の移住し來る人口の種類は主として無教育で若き勞働力ある獨身者である、次に戦前戦後に於ても大都市へ年老いたる收入無能力者及限定的勞働能力者が田舎より移住し來る

事實は注意すべきである、多くの獨逸大都市に於ては人口の $\frac{1}{2}$ 乃至 $\frac{2}{3}$ 以下は直接公の經常的救助を受けて居り、此の救助の他に數回の救助を受くる者、並に被救助者の從屬者即ち公の物資に依り生活を維持して居る者は多數に上る、茲に注意すべきは、大都市への人口移住の源泉なる地方人口が減少し初めたる事と國民年齡構成の質が今日戦前に比して劣れる事とである、一九一四年から一九二五年の期間に於て、現在領土内に於ける全人口は約二百萬人だけ増加した、所謂生産能力を有する人口即ち十五歳より六十五歳の年齢にある人口は五百萬人だけ増加した、しかるに一方十五歳以下の年齢にある人口は約四百萬人だけ減少したのである、此の事實は、生産能力者は戦前に比し五百萬人だけ増加したるを示すと共に、戦後の人口が戦前の人口よりも甚だしく年老いた、又僅かな生産能力を有するものである事を示すのである。

次に勞働力を大都市が充す爲めには、繼續的に都市に住する人口の移動によるものゝ他に、都市の内部と

其の外廓並に隣接地域との間を毎日或は毎週往復する労働者群の一時的移動を考へねばならぬ、所謂振り移動が之である、而してかゝる移動を可能ならしむるものは交通機關である。

三、獨逸大都市の經濟的基礎

獨逸に於ける近世大都市發展の最も緊要且つ決定的基本問題は、如何なる根源からして大都市住民が所得を得、労働及生活需要、並に享樂充足手段を獲得するや、是等の根源は何處に在るや、の點に存してゐる。

(一) 大都市人口の經濟的及社會的層 職業及び經營を調査すること、大都市の經濟的基礎の形成と經濟的形態とを理解する事が出来る、試みに各個都市住民職業別の數を擧げると、次のやうである。

	工業及 手工業 人口	商業及 交通業 人口	官吏及 自由職 業人口	無職及 不甲 告 者人口
Hamborn,	79%	9%	4-6%	
Buer	78	7	4-6	6%
Gelsenkirchen	71	12	4-6	

Hindenburg,	69	10	4-6	
Oberhausen	68	17	4-6	7%
Bochum,	66	15	4-6	
Barmen,	64	19	4-6	7
Ludwigshafen a. Rh.	63		4-6	7%
Essen,	62	18	4-6	
Plauen,	62	19		
Duisburg,	62		4-6	6
Chemnitz,	61			
Kassel,	49		13-19	
Breslau,	39			
München,	39			14
Karlsruhe,	36		13-19	
Wiesbaden,	33			15
Hamburg,	32	44		
Königsberg,	32	34	13-19	14
Münster,	28		13-19	14
Frankfurt a. M.		35		
Angsburg,		19		
Kiel,			13-19	
Mühlheim. a. d. Ruhr,			4-6	
Harburg-Wilhelmsburg,			4-6	7%

次に基本的且直接的都市收入と派生的間接的收入との區分を統計的方法に依つて明かにする事は非常に困難であるが、今ミュンヘン市の都市的性質を都市人口の本源的収入源泉に従つて明かにすると次の數字を得るのである。

約 $\frac{1}{2}$ 商工都市として

約 $\frac{1}{4}$ 官吏、軍事、大學、學校都市として、

約 $\frac{1}{4}$ 遊覽都市として

約 $\frac{1}{10}$ 金利生活者都市として

約 $\frac{1}{10}$ 藝術、科學、著述等の都市として

強 $\frac{1}{10}$ 原始生産の都市として

(二) 大都市の外部的財の交易 大都市の經濟は外部から財貨及其他の價値あるものを購入し、更に外部に此等を販賣する事に基いて營まれて居る、其故に、都市を維持し保護する爲めにも、又學問的に研究する爲めにも、適當なる商業統計が必要である。

購買販賣統計の調査の主たる對象は商品の量、種類、價格、出所地、到達地を把握するにある、今日の此の統計は不完全で鐵道及び水路の財貨交通統計を唯

一の頼りにして居る、然し交通統計は、個々の鐵道運送で一千封度以上の大量運送のみを顧慮し、從て容積及び重量の低き高價の財貨を把握してゐない、亦財貨の出所地、到達地に對しても不完全である、何故なら該統計は本元的出所地も最後の販賣地も指示するを得ずして只だ鐵道運送或は回漕の終始の場所を指示し得るのみであるからである。然しながら少くとも大量財貨に關しては購入及販賣地域に就て學問的研究をするにも相當の價値を與ふべきである、更に大都市の財貨の販賣購買がどの程度まで國家の領域を超えて外國に擴大してゐるかを知る爲めにも交通統計は實益を有してゐる、現今獨逸の輸出の著しき部分は大都市の財貨販賣に基いて居る事は、國有鐵道財貨交通統計により推論し得る處である、財貨の購買販賣の諸關係は多様多岐であるが、一般的に云へば、大都市は原料を多く購入し加工品を多く販賣するのである。

(三) 大都市の存在及生活條件の他の根源 國民經濟と大都市經濟との他の綯合形態を茲で簡單に考察す

る、斯様な編合形態は近代に於ては特に利益社會及 Konzern の形成に依て、大都市的企業に依て、株式會社の擴大等に依て、發生した、其の編合關係の密接なる都市は、柏林とケルンとフランクフルト、アム、マインとである、Berlin は各種企業を中心であり、Köln は大企業の所在地であり、Frankfurt a. M. は纖維工業の中樞である。此の編合形態を統計的に攻究すると、先づ最初に國民經濟に對する大都市の資本並に信用經濟的編合を注目すべきである、此の點に於て幾多の獨乙大都市は自己の經濟的基礎の或部分を柏林のために失つて居る、Magdeburg 或は他の利益社會に依て多數の地方銀行は柏林の大銀行に合併され、同時に柏林の諸會社は株式の購入、資本の投下等に依て獨逸大都市の資本經濟へ侵入するに至つたのである。
